第 63 回　日本糖尿病学会近畿地方会

プログラム

特別講演
教育講演
シンポジウム
小児糖尿病医会プログラム
糖尿病医療者・研究者のダイバーシティを promote する委員会企画
日本糖尿病学会近畿支部 国際学会・会議参加のための助成
2025 年度助成対象者報告会
第 4 回糖尿病を持つ人(PwD)の心理・行動と支援について学ぶセミナー
次世代糖尿病内科医育成委員会による症例検討会
第 8 回 CDE ミーティング in 近畿
ランチョンセミナー
アフタヌーンセミナー
優秀演題セッション
一般演題

第 63 回日本糖尿病学会近畿地方会

特別講演（オンライン登壇）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　10:50 ～ 11:40

SL「AI アバターと未来医療」
座 長：今川　彰久（大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ）
演 者：石黒　　浩（大阪大学 基礎工学研究科）

教育講演 1（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　8:30 ～ 9:00

EL1「糖尿病足病変と末梢動脈疾患」
座 長：福井　道明（大阪鉄道病院）
演 者：髙原　充佳（大阪大学大学院医学系研究科 病院臨床検査学講座）

教育講演 2（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　9:00 ～ 9:30

EL2「糖尿病網膜症・糖尿病黄斑浮腫―最新の病態理解と治療戦略―」
座 長：繪本　正憲（大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学・腎病病態内科学）
演 者：喜田　照代（大阪医科薬科大学 医学部 眼科学教室）

教育講演 3（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　9:40 ～ 10:10

EL3「肥満症治療 Update」
座 長：小川　　渉（神戸大学大学院医学系研究科 橋渡し科学分野 代謝疾患部門）
演 者：前田　法一（近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）

教育講演 4（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　10:10 ～ 10:40

EL4「糖尿病における食事栄養療法と腸内細菌叢」
座 長：下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
演 者：入江潤一郎（関西医科大学 医学部 糖尿病科・内分泌内科）

教育講演 5（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　14:25 ～ 14:55

EL5「ダイアベティスに対する薬物治療の現在地と未来　―インクレチン・SGLT2 を基軸とした病態志向型治療―」
座 長：小山　英則（兵庫医科大学 医学部）
演 者：矢部　大介（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）

教育講演 6（専門医認定更新のための教育講演）…… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　14:55 ～ 15:25

EL6「我が国の重症低血糖の現状とこれからの対策」

座 長：稲垣　暢也（公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院）
演 者：松久　宗英（健昭会なにわ病院 糖尿病・代謝内科）

シンポジウム 1 …… 第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　15:30 ～ 17:30

SY1「1 型糖尿病 ～ " 治す " と " 支える " の最前線～」

座 長：加藤　　研（国立病院機構大阪医療センター 糖尿病・内分泌内科）
　　小澤　純二（大阪大学大学院医学系研究科 糖尿病病態医療学寄附講座）

SY1-1「1 型糖尿病診療の変遷と次世代のスタンダード」
演 者：能宗　伸輔（近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）
SY1-2「膵島細胞補充療法の最新動向」
演 者：藤倉　純二（京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科）
SY1-3「膵組織から見た 1 型糖尿病治療」
演 者：川田　哲史（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
SY1-4「外来インスリンポンプ導入のコツ」
演 者：柴崎早枝子（市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科）
SY1-5「AID 療法による 1 型糖尿病治療の進歩と今後の展望」
演 者：廣田　勇士（神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病内分泌内科学部門）

シンポジウム 2 …… 第 4 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1003）9:00 ～ 11:00

SY2「激動する社会を生き抜くための " 伴走 " ～孤独に寄り添い、つながりを処方する～」

座 長：石井　　均（市立奈良病院 教育研修センター／糖尿病・内分泌内科）
　　徳永あゆみ（関西医科大学 医療安全管理センター / 関西医科大学附属病院 糖尿病科）

SY2-1「" 見えない孤独 " ～まず、一人とつながるということ～」
演 者：寺前　純吾（大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ）
SY2-2「" 見えない孤独 " に気づく～糖尿病をもつ人が抱える心理的負担とスティグマへの介入～」
演 者：松田　友和（医療法人社団翠藍 糖尿病内科まつだクリニック）
SY2-3「医療と暮らしのあいだで生まれる関係性―地域薬局の薬剤師による『伴走』―」
演 者：岡田　　浩（京都大学大学院医学研究科）
SY2-4「ナラティブをチームでつなぐ ～患者の語る経験を大事にする関わり～」
演 者：井上　裕美（大阪医科薬科大学病院 看護部）
SY2-5「" 支える側 " が支えられるとき～医療者のバーンアウトとチームで守る対話の場～」
演 者：髙橋紗也子（京都府立医科大学附属病院 疼痛緩和医療部）

小児糖尿病医会プログラム …… 第 9 会場　大阪国際会議場
（12 階　特別会議場）　9:00 ～ 11:00

PS「1 型糖尿病を持つ子どもの園・学校生活：各施設の現状と課題」

座 長：広瀬　正和（D Medical Clinic Osaka）
　　松井　克之（滋賀県立総合病院 小児内分泌代謝糖尿病科）

PS-1「1 型糖尿病を持つ子どもの園・学校生活の現状と課題 – 中規模小児糖尿病診療施設の小児科医の立場から」
演 者：田邉　裕子（関西医科大学 香里病院）
PS-2「1 型糖尿病を持つこどもへの支援 : 内科医の立場から」
演 者：廣田　勇士（神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病内分泌内科学部門）
PS-3「看護師の立場から　医療と教育をつなぐ coordination―」
演 者：馬場　恵子（滋賀県立総合病院 看護部）
PS-4「1 型糖尿病を持つ子どもの園・学校生活：各施設の現状と課題」
演 者：柚山　賀彦（大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学）

糖尿病医療者・研究者のダイバーシティを promote する委員会企画
第 8 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1009）　10:50 ～ 11:40

DC「臨床の問いと思いを研究に―食事療法へのひとつの挑戦」

座 長：小澤　純二（大阪大学大学院医学系研究科 糖尿病病態医療学寄附講座）
　　山田　倫子（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）
演 者：馬殿　　恵（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学／大阪大学大学院医学系研究科 ライフスタイル医学寄附講座）

日本糖尿病学会近畿支部 国際学会・会議参加のための助成 2025 年度助成対象者報告会

第 8 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1009）　9:00 ～ 9:30

座 長：下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
演 者：川原　良介（滋賀医科大学医学部附属病院 糖尿病内分泌・腎臓内科）

第４回　糖尿病を持つ人（PwD）の心理・行動と支援について学ぶセミナー

第 4 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1003）　15:30 ～ 17:30

SS「糖尿病と多疾患を持つ人の医療；一人一人の人生といのちの尊厳と QOL を保証するケア」

座 長：田中　史子（京都先端科学大学 人文学部心理学科・人間文化研究科）
　　福井　道明（大阪鉄道病院）

SS-1「認知症を持つ糖尿病高齢者への訪問看護師のかかわり―共感からはじまるケアのあり方―」
演 者：臼井　玲華（総合ケアステーションわかば 訪問看護）
SS-2「“ 終のすみかを考える ”1 型糖尿病を持つひとが認知症になったとき何処でいきていけばいいのか？
　血糖めぐる関わり通じ見えたこと」
演 者：緒方　浩美（みみはら在宅クリニック / 耳原鳳クリニック）
SS-3「糖尿病医療者は血糖値を通してなにを支えるのか－がんと糖尿病をもつひとのケア－」
演 者：山﨑　真裕（京都第二赤十字病院 代謝・内分泌内科）
SS-4「ひと―糖尿病をもつ―をケアする医療を貫くもの：パーソン・センタード・ケアを学ぶ」
演 者：石井　　均（市立奈良病院 糖尿病・内分泌内科）

次世代糖尿病内科医育成委員会による症例検討会

症例検討・ディスカッション …… 第８会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1009）　9:40 ～ 10:40

テーマ：「新生児糖尿病」

司会　：長江　亮太（大阪医科薬科大学）
　　堀井　知美（大阪大学）

ミニレクチャー　：「新生児糖尿病の一般的な経過、治療方法について」
　　関西医科大学　　向井　千賀

症例提示１　：「高用量グリベンクラミド（GBCM）内服とインスリン頻回注射で加療中に、服薬の不遵守を契機に糖尿病性ケトアシドーシスを発症した永続性新生児糖尿病の一例」
　　大阪医科薬科大学　　森本　亜衣、中森万由子、長江　亮太

症例提示２　：「一過性新生児糖尿病の一例」
　　大阪大学　　堀井　知美

特別ショートレクチャー：「新生児糖尿病の成因と本邦における発症原因遺伝子異常の実態について」
　　公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 理事長 / 京都大学 名誉教授
　　稲垣　暢也

コメンテーター　：角谷　佳則（大阪公立大学）
　　村上　隆亮（京都大学）
　　橋本　善隆（京都府立医科大学 松下記念病院部長）
　　奥田　祐輝（近畿大学）
　　菅原　健二（神戸大学）
　　井田　昌吾（滋賀医科大学）
　　三好　晶雄（兵庫医科大学）
　　西　　伸幸（和歌山県立医科大学）
　　中島　拓紀（奈良県立医科大学）

企画　：日本糖尿病学会　近畿支部　次世代糖尿病内科医育成委員会

第８回 CDE ミーティング in 近畿

CDE ミーティング in 近畿 …… 大阪国際会議場
（8 階　会議室 801）　9:30 ～ 11:30

「近畿 CDE 認定団体の連携の深化のために」

奈良糖尿病療養指導士（CDE なら）認定委員会
糖尿病療養指導士兵庫県連合会（CDE 兵庫）
和歌山地域糖尿病療養指導士（WLCDE）認定委員会
大阪糖尿病療養指導士（CDE 大阪）認定機構
滋賀糖尿病療養指導士（CDE 滋賀）認定委員会
京都府糖尿病療養指導士（CDE 京都）認定委員会

ランチョンセミナーのご案内

ランチョンセミナー 1（LS1）　第 1 会場　大阪国際会議場
（5 階　大ホール）　11:55 ～ 12:45

「糖尿病・肥満症治療におけるセマグルチドの可能性」

座 長：西澤　　均（箕面市立病院 糖尿病・内分泌代謝内科）
演 者：福井　道明（大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 2（LS2）　第 2 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1001）　11:55 ～ 12:45

「Beyond Glycemic Control ～ SGLT2 阻害薬が変えた臓器保護戦略～」

座 長：繪本　正憲（大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学）
演 者：淺原俊一郎（神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学部門）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

ランチョンセミナー 3（LS3）　第 3 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1002）　11:55 ～ 12:45

「2 型糖尿病患者の腎臓を守る治療戦略～ J-DREAMS から考えるケレンディアの可能性～」

座 長：寺前　純吾（大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ）
演 者：坊内良太郎（国立国際医療研究センター 糖尿病総合診療センター）

共催：バイエル薬品株式会社

ランチョンセミナー 4（LS4）　第 4 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1003）　11:55 ～ 12:45

「その治療提案が、2 型糖尿病のある人の明日を変える？　ーマンジャロのちからー」

座 長：岡田　拓也（市立池田病院 糖尿病・内分泌内科）
演 者：森　　博子（森内科医院）

共催：田辺ファーマ株式会社 / 日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー 5（LS5）　第 5 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1004-1005）　11:55 ～ 12:45

「インクレチン時代だからこそ持効型インスリンを改めて考えてみる
～ CGM 時系列解析と因子分析から見えてきた新たな価値～」

座 長：下村伊一郎（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
演 者：坂口　一彦（神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・総合内科学分野 総合内科学 医学教育学分野）

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー６（LS6）　　第６会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1006-1007）　　11:55 ～ 12:45

「2 型糖尿病患者の血糖マネジメントの質向上に向けて
～地域と多職種の連携で取り組む CGM 活用症例 Tips ～」

座 長：松岡　孝昭（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）
演 者：元山　宏華（大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）

共催：アボットジャパン合同会社

ランチョンセミナー７（LS7）　　第８会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1009）　　11:55 ～ 12:45

「今こそ、" 糖のながれ " を再現する治療を実行しよう」

座 長：小川　　渉（神戸大学大学院医学系研究科 橋渡し科学分野 代謝疾患部門）
演 者：河盛　隆造（順天堂大学 名誉教授）

共催：住友ファーマ株式会社

ランチョンセミナー８（LS8）　　第 10 会場　大阪国際会議場
（12 階　会議室 1202）　　11:55 ～ 12:45

「令和時代のリアルタイム CGM のポジショニング～ 15day はどう変えるのか？～」

座 長：片上　直人（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）
演 者：大坂　貴史（綾部市立病院 内分泌・糖尿病内科）

共催：デクスコムジャパン合同会社

アフタヌーンセミナーのご案内

アフタヌーンセミナー 1（AS1）　第 3 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1002）　14:30 ～ 15:20

「1 型糖尿病の新しいステージに向けて」

座 長：山田祐一郎（関西電力病院 内分泌代謝・ダイアベティス（糖尿病）センター）

「発症前 1 型糖尿病とは？ - 概念，病期分類，代表的な Evidence -」

演 者：村上　隆亮（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）

「1 型糖尿病スクリーニング時代における心理的ケア体制：PREP-T1D 試験結果を踏まえた今後の展開」

演 者：川村　智行（あべのメディカルクリニック）

共催：サノフィ株式会社

アフタヌーンセミナー 2（AS2）　第 4 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1003）　14:30 ～ 15:20

「CKD の 3 大治療目標に挑む -5Pillars を支える SGLT2 阻害薬と高カリウム血症管理 -」

座 長：石井　　輝（関西電力病院 腎臓内科 ）
演 者：仲谷　慎也（大阪公立大学大学院医学研究科 腎臓病態内科学）

共催：アストラゼネカ株式会社

アフタヌーンセミナー 3（AS3）　第 5 会場　大阪国際会議場
（10 階　会議室 1004-1005）　14:30 ～ 15:20

「2 型糖尿病治療、その先へ―GLP-1 受容体作動薬と残されたリスクを考える―」

座 長：佐野　寛行（大阪医科薬科大学）
演 者：森岡　与明（大阪公立大学）

共催：MSD 株式会社 / ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

優秀演題セッション・一般演題セッション一覧

	プログラム ページ番号	抄録 ページ番号
優秀演題セッション１	24	91
優秀演題セッション２	25	92
一般演題１　診断・疫学	26	93
一般演題２　インスリン	27	94
一般演題３　腎症	28	95
一般演題４　２型糖尿病１	29	96
一般演題５　２型糖尿病２	30	97
一般演題６　検査	31	98
一般演題７　肥満１	32	99
一般演題８　肥満２	33	99
一般演題９　１型糖尿病１	34	100
一般演題 10　１型糖尿病２	35	101
一般演題 11　１型糖尿病３	36	102
一般演題 12　高齢者医療１	37	103
一般演題 13　高齢者医療２	38	104
一般演題 14　二次性糖尿病１	39	105
一般演題 15　二次性糖尿病２	40	106
一般演題 16　糖尿病昏睡	41	107
一般演題 17　糖尿病治療薬１	42	108
一般演題 18　糖尿病治療薬２	43	109
一般演題 19　糖尿病治療薬３	44	110
一般演題 20　興味ある症例１	45	111
一般演題 21　興味ある症例２	47	112
一般演題 22　興味ある症例３	48	113
一般演題 23　食事療法	49	114
一般演題 24　運動療法	50	115
一般演題 25　患者教育	51	115
一般演題 26　チーム医療・保健指導１	52	116
一般演題 27　チーム医療・保健指導２	53	117
一般演題 28　チーム医療・保健指導３	54	118
一般演題 29　感染症	55	119
一般演題 30　CSII・SAP・CGM1	56	120
一般演題 31　CSII・SAP・CGM2	57	121
一般演題 32　CSII・SAP・CGM3	58	122
一般演題 33　妊娠	59	123
一般演題 34　低血糖	60	124

第２会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1001）

優秀演題セッション 1　9:00 ～ 10:00

座長：久米 真司（滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科学講座）
松岡 孝昭（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）

ES1-1　ダパグリフロジンにより尿中アルブミン排泄低下と血清 Mg 上昇を得た HNF1B-MODY の一例

大阪公立大学医学部付属病院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学
○貴治 茉奈美、角谷 佳則、中谷 晋、宮本 祥子、三木 祐哉、森岡 与明、繪本 正憲

ES1-2　ICI 関連劇症 1 型糖尿病発症後に膵炎 , 肝炎 , サイトカイン放出症候群を呈した 1 症例

近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科[1]、近畿大学 医学部 腫瘍内科[2]、
近畿大学 医学部 消化器内科[3]
○小松 千誉[1]、西野 正嗣[1]、小澤 実那[2]、萩原 智[3]、吉田 左和[1]、武友 保憲[1]、廣峰 義久[1]、
馬場谷 成[1]、能宗 伸輔[1]、前田 法一[1]

ES1-3　発症前の一過性ホルモン高値を認めた ICI 関連下垂体炎・糖尿病の 1 例

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科[1]、
神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学[2]
○井上 侑子[1]、穂積 かおり[1]、山田 倫子[1]、芳村 魁[1]、佐々木 百合子[2]、大井 佑夏[1]、
坂東 弘教[2]、福岡 秀規[2]、淺原 俊一郎[2]、廣田 勇士[2]

ES1-4　AID 療法中に繰り返す低血糖から、インスリン抗体陽性が判明した 1 型糖尿病の 1 例

京都第二赤十字病院 代謝内分泌内科
○田中 陽子、山﨑 真裕、浅野 麻衣、加藤 さやか、富永 悠太

ES1-5　29℃台の著明な低体温 , 敗血症性ショックを伴う糖尿病性ケトアシドーシスの一例

奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科[1]、奈良県立医科大学附属病院 感染症内科[2]
○柵木 健吾[1]、浦井 伸[1]、新家 瑛[1]、勝又 美穂[1]、増田 和也[1]、辻本 凌悦[2]、笠松 丈人[2]、
今北 菜津子[2]、福西 慧[1]、中島 拓紀[1]、高橋 裕[1]

第２会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1001）

優秀演題セッション２　10:00 ～ 10:50

座長：淺原 俊一郎（神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）
小山 英則（兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学）

ES2-1　痩身目的でチルゼパチドとメトホルミンを使用し代謝性ケトアシドーシスに陥った症例
奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科[1]、奈良県総合医療センター 消化器内科[2]
○髙橋 菖[1]、宇和田 佳太[1]、森口 拓磨[1]、上嶋 昌和[1]、永松 晋作[2]、松尾 英城[2]、守屋 圭[2]

ES2-2　クッシング病による血糖マネジメント増悪が考えられた１例
関西電力病院 内分泌代謝・ダイアベティス（糖尿病）センター
○江籠 裕起、窪田 創大、中谷 晃人、西岡 冴倭、大守 泰広、山口 裕子、山崎 裕自、表 孝徳、山田 祐一郎、清野 裕、浜本 芳之

ES2-3　高血糖高浸透圧症候群（HHS）治療後に脳梗塞・橋外脱髄症（EPM）を併発した一例
市立大津市民病院 糖尿病・内分泌内科
○宇都山 遥、大西 佑弥、木村 綾花、峠岡 佑典、石井 道予

ES2-4　画像・脳波改善後も神経学的回復に時間を要した低血糖脳症の１例
滋賀医科大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科・腎臓内科[1]、
滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経内科[2]
○冨田 怜奈[1]、西村 公宏[1]、古倉 有希[1]、小杉 和希[1]、田中 弘一[2]、鍬田 菜摘[1]、井田 昌吾[1]、大橋 夏子[1]、村田 幸一郎[1]、宮澤 伊都子[1]、久米 真司[1]

第２会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1001）

一般演題 1　診断・疫学　14:30 ～ 15:30

座長：岩倉 敏夫（神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病内分泌内科）
三好 晶雄（兵庫医科大学 内科学 糖尿病内分泌・免疫内科学講座）

O1-1　MODY2 の新規バリアントを同定した 1 家系

関西医科大学 小児科学講座[1]、関西医科大学附属病院 臨床遺伝センター[2]、
関西医科大学 附属生命医学研究所・ゲノム解析部門[3]
○野村 直宏[1]、田邉 裕子[1]、藤本 実優[1]、見浪 実紀[1]、藤井 善充[1]、木村 香里[2]、島田 咲[2]、
佐藤 智佳[2]、日笠 幸一郎[3]、金子 一成[1]

O1-2　危ない脂肪肝 MASLD はこんなに多い：75gOGTT の代謝症候群 (MS) 合併を検討

すがの内科クリニック
○菅野 雅彦、松野 たか子、永田 聖華、伊東 雅子

O1-3　インスリン製剤の処方実績に関する NDB オープンデータを用いた解析

一般財団法人住友病院 内分泌代謝内科[1]、一般財団法人住友病院 総合診療科[2]
○大谷 展舗[1]、杉山 拓也[1]、冨江 祥生[1]、三善 浩志[1]、博多 紗弓[1]、伊藤 慶人[1,2]、嶺尾 良平[1]、
佐々木 翔[1]、丹波 祥子[1]、山本 浩司[1,2]

O1-4　糖尿病発症前の段階における睡眠時無呼吸重症度と HbA1c 経時変化の関連

兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学
○角谷 美樹、角谷 学、木俵 米一、三好 晶雄、小西 康輔、小山 英則

O1-5　足病変ハイリスク者のセルフケア行動と自己効力感に影響を与える因子の検討

八尾徳洲会総合病院 看護部[1]、八尾徳洲会総合病院 糖尿病代謝内科[2]、
八尾徳洲会総合病院 内科[3]
○藤井 安希子[1]、酒井 菜穂子[1]、西村 千恵[1]、牧田 美奈[1]、髙原 良典[3]、石橋 里江子[2]

O1-6　糖尿病初期治療患者での心血管・腎・代謝（CKM）イベント発症率の比較

和歌山労災病院 臨床検査科[1]、和歌山労災病院 内科[2]
○大星 隆司[1,2]、味村 彩美[2]、丸山 杏奈[2]、中野 雄斗[2]、田村 志宜[2]、中尾 隆太郎[2]、若崎 久生[2]、
中 啓吾[2]、南條 輝志男[2]

第２会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1001）

一般演題２　インスリン　15:30 ～ 16:30

座長：長嶋 一昭（京都桂病院 糖尿病・内分泌内科）
　　火伏 俊之（市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科）

O2-1　週１回インスリン製剤及び GLP-1RA 使用が有用であった高齢者２型糖尿病の１例
社会医療法人三和会 永山病院 糖尿病内科[1]、社会医療法人三和会 永山病院 腎臓内科[2]、
社会医療法人三和会 永山病院 整形外科[3]、社会医療法人三和会 永山病院[4]
○木本 栄司[1]、林 幸祐[1]、市井 拓哉[2]、永山 晴美[2]、都倉 稔功[3]、高橋 均[4]

O2-2　当院におけるインスリン icodec を使用した 15 例の臨床的検討
医療法人徳洲会 恵生会病院
○笠本 学、木股 宏恵、塩田 修三、飯塚 隆史、藤澤 智巳

O2-3　後期高齢２型糖尿病患者におけるインスリン イコデクの使用経験
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 糖尿病内科[1]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 看護部[2]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 リハビリテーション科[3]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 薬剤部[4]
○香西 夏子[1]、飯田 宏美[1]、池尻 礼子[1]、福田 祥子[1]、上田 実希[1]、西 昌子[2]、高尾 七海子[2]、
堀江 安里沙[2]、佐藤 愛[3]、澤田 玲子[4]、小西 俊彰[1]

O2-4　週１回持効型溶解インスリン製剤を導入した高齢１型糖尿病の一例
市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科[1]、医療法人じゅんこ内科クリニック[2]
○酒井 紅美子[1]、米須 まりも[1]、米澤 茉友[1]、二宮 浩世[1]、竹下 恵理子[1]、火伏 俊之[1]、
丸山 純子[2]

O2-5　心不全を契機にイコデクによる遷延性低血糖をきたした認知症合併高齢糖尿病の１例
大阪府済生会 中津病院 糖尿病内分泌内科
○瀬野 梓、山名 理子、新谷 光世、磯谷 亮輔、西浦 綾乃、窪田 紗希、山下 唯、田中 早津紀

O2-6　インスリンイコデクによる遷延性低血糖を認めた高齢者２型糖尿病の１例
大津赤十字病院 糖尿病内分泌内科
○千々石 莉彩、榊 健太郎、木村 有里、奥野 佳奈、西川 祐貴、岸 晃生、藤田 直尚、
扇田 祐貴子、谷口 孝夫

第２会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1001）

一般演題３　腎症　16:30 ～ 17:30

座長：福本 真也（大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学）
安田 哲行（大阪けいさつ病院 糖尿病・内分泌・代謝内科）

O3-1　90 歳以上で維持血液透析を行っている糖尿病関連腎臓病症例の検証

公立宍粟総合病院 内科[1]、公立神崎総合病院 総合診療科[2]
○樋口 祥吾[1]、有方 希[2]、西村 運平[1]、高田 夏美[1]、土井 翔太[1]、塩飽 詩織[1]、八木 洋輔[1]、八木 優子[1]、川西 正敏[1]、湯浅 貞稔[1]、山城 有機[1]

O3-2　地域医師会による糖尿病腎症重症化予防プログラムへの取り組み－ LTEP －を用いた検討

おおはぎ内科[1]、伊藤クリニック[2]、梅本診療所[3]、植阪クリニック[4]、
上田消化器・内科クリニック[5]、曽和医院[6]、谷内クリニック[7]、田中診療所[8]、
南クリニック胃腸肛門科[9]、森下クリニック[10]、大津市民病院 腎臓内科・血液浄化部[11]
○大萩 晋也[1]、江川 公浩[2]、梅本 博昭[3]、植阪 和修[4]、上田 和樹[5]、曽和 正[6]、谷内 まゆみ[7]、田中 耕治[8]、南 光昭[9]、森下 昌亮[10]、中澤 純[11]

O3-3　２型糖尿病合併慢性腎臓病におけるフィネレノンの有効性・安全性に関する後ろ向き研究

森内科医院[1]、黒石市国民健康保険黒石病院[2]
○森 博子[1]、松橋 有紀[2]

O3-4　進行した糖尿病性腎症に対しフィネレノンとセマグルチドを用いて尿蛋白が減少した一例

市立長浜病院 腎臓代謝内科[1]、市立長浜病院 ヘルスケア研究センター[2]
○津田 拓哉[1]、住井 杏捺[1]、村田 航[1]、潮 正輝[1,2]、石田 均[2]、森田 善方[1]

O3-5　ARB から ARNI 変更で eGFR 改善を得たアルブミン尿正常の高齢２型糖尿病の１例

大阪けいさつ病院 糖尿病・内分泌代謝内科
○永堀 桜子、田淵 優希子、土居 佑爾、山本 愛、酒井 保奈、沖田 朋憲、焦 裕之、乾 遼子、堀川 慶子、安田 哲行

O3-6　血糖マネジメント悪化に伴い腎障害の進行を認めたファブリー病合併糖尿病の一例

大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学
○牧野 源生、小幡 佳也、浅井 啓亮、鍵崎 卓也、川田 哲史、宮下 和幸、下村 伊一郎

第３会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1002）

一般演題４　２型糖尿病 1　　8:50 ～ 9:50

座長：錢林 雅子（みどりヶ丘病院 糖尿病内科）
　　藤島 裕也（大阪大学 内分泌・代謝内科学）

O4-1　２型糖尿病として治療中、尿路感染症罹患を契機にインスリン分泌能の低下を認めた一例
兵庫県立尼崎総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
○小柳津 菜々、渡邉 元貴、下田平 眞生子、辻野 聡一、吉井 隆浩、古結 華奈、井植 浩祐、雨宮 健太、田辺 悦子、大久保 万理江、中村 嘉夫

O4-2　足壊疽加療中に直腸癌による Trousseau 症候群を発症した２型糖尿病の１例
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学
○大橋 昌功、井上 智香子、伊藤 実梨、楠 宜樹、木俵 米一、大東 真菜、三好 晶雄、角谷 美樹、角谷 学、小西 康輔、小山 英則

O4-3　移行期に治療変更を行い血糖コントロールが改善した小児期発症２型糖尿病の１例
関西医科大学 小児科学講座[1]、関西医科大学 内科学第二講座 糖尿病・内分泌内科[2]
○藤本 実優[1]、野村 直宏[1]、丸田 輝太郎[2]、見浪 実紀[1]、田邉 裕子[1]、金子 一成[1]

O4-4　ブレクスピプラゾール内服中に糖尿病性ケトアシドーシスをきたした２型糖尿病の一例
大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
○北村 充、福本 まりこ、小西 ひとみ、川村 春佳、青木 映里香、柳田 遥、福田 麻由、髙橋 尚子、田添 聡司、藥師寺 洋介、元山 宏華

O4-5　重症歯周炎由来と考えられた２型糖尿病合併腸腰筋膿瘍の１例
大阪市立総合医療センター
○西尾 知紘、髙橋 尚子、川村 春佳、青木 映里佳、柳田 遥、福田 麻由、北村 充、田添 聡司、薬師寺 洋介、福本 まりこ、元山 宏華

O4-6　介護施設での２型糖尿病の血糖コントロールと、骨折による入院との関連
山の辺病院 内科[1]、山の辺病院 整形外科[2]、山の辺病院 外科[3]、
高の原駅前糖尿病・内分泌内科クリニック[4]
○田原 一樹[1]、若槻 潤子[1]、簗瀬 公嗣[1]、中本 吉彦[1]、中川 正秀[2]、勝井 錬太[3]、西村 健志[4]、岡田 憲太郎[2]、岡田 二朗[3]

第３会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1002）

一般演題５　２型糖尿病２　9:50 ～ 10:50

座長：岡田 定規（奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学／臨床研修センター）
新谷 光世（大阪府済生会中津病院 糖尿病内分泌内科）

O5-1　糖尿病治療自己中断中に糖尿病性舞踏病を発症した高齢２型糖尿病女性
市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科
○米澤 茉友、二宮 浩世、米須 まりも、酒井 紅美子、竹下 恵理子、火伏 俊之

O5-2　糖尿病単神経障害（動眼神経麻痺）と重症筋無力症の鑑別を要した１例
独立行政法人市立大津市民病院 糖尿病・内分泌内科
○木村 綾花、宇都山 遥、峠岡 佑典、石井 通予

O5-3　ステロイド投与症例における血糖値確認の重要性
医療法人信和会 明和病院 薬剤部[1]、医療法人信和会 明和病院 糖尿病・内分泌内科[2]
○田辺 真里[1]、中原 優華[1]、菊井 利伸[1]、高谷 伸治[1]、津川 真美子[2]

O5-4　２型糖尿病患者に対するイメグリミンの有効性と安全性の検討
近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科
○廣峰 義久、馬場谷 成、武友 保憲、吉田 左和、能宗 伸輔、前田 法一

O5-5　糖尿病患者における他覚的な睡眠の質と睡眠中の自律神経機能との関連を検討
兵庫医科大学 糖尿病内分泌免疫内科学講座
○渡邊 真衣、木俵 米一、角谷 学、三好 晶雄、角谷 美樹、小西 康輔、小山 英則

O5-6　２型糖尿病において左室拡張能障害と Glycemia risk index は関連する
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学[1]、夙川勝野内科クリニック[2]
○大東 真菜[1]、楠 宜樹[1]、井上 智香子[1]、玉井 宏介[1]、井上 真希[1]、大杉 敬子[1]、勝野 朋幸[2]、角谷 学[1]、小西 康輔[1]、小山 英則[1]

第３会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1002）

一般演題６　検査　10:50 ～ 11:50

座長：古田 眞智（和歌山県立医科大学 医学部 臨床検査医学）
　　山本 恒彦（関西労災病院 糖尿病内分泌内科）

O6-1　HbA1c 偽性低値から判明した異常ヘモグロビン症の１例
関西労災病院 糖尿病内分泌内科[1]、明和病院 糖尿病内分泌内科[2]
○谷口 和弥[1]、小池 奈生季[1]、吉田 英人[1]、原 知之[1]、久保田 稔[2]、山本 恒彦[1]

O6-2　インスリン抵抗性の指標としての TyG および TG/HDL-C 比の有用性の検討
阪南市民病院 糖尿病内科
○玉川 えり、那須 鉄史、三家 登喜夫

O6-3　貧血による HbA1c 過小評価を呈した糖尿病性腎症によるネフローゼ症候群の１例
滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科学講座
○榮 智徳、井口 里奈、山田 安希、上原 孔美、菅原 翔、桑形 尚吾、山原 康佑、佐々木 裕紀、山原 真子、金﨑 雅美、久米 真司

O6-4　FreeStyle リブレ® での 75gOGTT は可能なのか？～当院スタッフでの検討～
つつみクリニック
○藤井 美幸、堤 美生、中川 美喜、加藤 郁、徳光 邦香、古山 理恵、堀 智示、石原 千夏、阪上 貴子、堤 丈士

O6-5　免疫細胞及び血管内皮における終末糖化産物受容体 (RAGE) は認知症発症に関与する
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座[1]、兵庫医科大学 遺伝学講座[2]、兵庫医科大学 免疫学講座[3]、金沢大学大学院医学系研究科 血管分子生物学[4]
○三好 晶雄[1]、牛谷 友栄[1]、今坂 舞[2]、角谷 学[1]、小西 康輔[1]、庄司 拓仁[1]、安田 好文[3]、大村谷 昌樹[2]、山本 靖彦[4]、小山 英則[1]

O6-6　OGTT 血糖値のみで算出した disposition index の日本人での有用性
神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科[1]、
神戸大学大学院医学系研究科 未来社会医学健康科学講座[2]、
神戸大学大学院医学系研究科 橋渡し科学分野代謝疾患部門[3]
○乾 妃那[1]、坂口 一彦[1,2]、福満 隼人[1]、桂 由佳梨[1]、西坂 まり華[1]、森田 靖子[1]、末松 那都[1]、山田 倫子[1]、小川 渉[1,3]、淺原 俊一郎[1]

第３会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1002）

一般演題７　肥満 1　　15:30 ～ 16:20

座長：井上 佳菜（市立池田病院 糖尿病内分泌内科）
　　卯木 智（近江八幡市立総合医療センター 代謝・内分泌内科）

O7-1　セマグルチドで減量停滞後にチルゼパチドで追加減量を得た高度肥満２型糖尿病の一例
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 内分泌・代謝内科[1]、
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 糖尿病・内分泌センター[2]
○大石 怜奈[1]、徳永 陽菜[1]、細江 れい[1]、大畑 颯世[1]、是近 彩香[2]、大畔 健太[1]、宇都 佳彦[2]、笠山 宗正[1]、橋本 久仁彦[1]

O7-2　減量・代謝改善手術後の減量不良に対してチルゼパチドが有効であった一例
加古川中央市民病院 糖尿病内分泌内科[1]、明石医療センター 外科[2]
○島袋 理穂[1]、一ノ瀬 祐人[1]、天野 桃望[1]、新井 尚樹[1]、中村 友昭[1]、阿部 紘一郎[2]

O7-3　腹腔鏡下スリーブバイパス術が有効であった血糖マネジメント不良な肥満２型糖尿病症例
加古川中央市民病院 糖尿病・内分泌内科[1]、明石医療センター 外科[2]
○中村 友昭[1]、阿部 紘一郎[2]、島袋 理穂[1]、天野 桃望[1]、一ノ瀬 祐人[1]、新井 尚樹[1]

O7-4　プラダー・ウィリー症候群に合併した２型糖尿病の血糖管理に難渋した１例
大阪急性期・総合医療センター 糖尿病内分泌内科
○眞嶋 香奈、監物 諒相、藤吉 仁史、畑 雅久、藤田 洋平、畑﨑 聖弘

O7-5　地域医療における肥満症診療の実践
べっぷ内科クリニック宇治市役所前[1]、べっぷ内科クリニック[2]
○青谷 大介[1]、塚本 雅美[1]、最上 伸一[2]、吉田 菜々[1]、冨田 恵理加[1]、柴田 有美[1]、竹内 美江[1,2]、安田 莉乃[1,2]、庄司 愛望[1,2]、清水 芽衣[1,2]、別府 浩毅[1,2]

第３会場（大阪国際会議場　10階　会議室1002）

一般演題８　肥満２　16:20 ～ 17:10

座長：西澤 均（箕面市立病院 糖尿病・内分泌・代謝内科）
本庶 祥子（公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 糖尿病内分泌内科）

O8-1　健診女性の腹囲８０ｃｍ未満における体脂肪・脂肪肝とメタボリックな病態リスクの検討

市立長浜病院 腎臓代謝内科[1]、市立長浜病院 ヘルスケア研究センター[2]、
市立長浜病院 健康・栄養づくりセンター[3]、御所南はらしまクリニック[4]、
京都大学大学院医学研究科 ゲノム医学センター[5]、
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻[6]、市立長浜病院 消化器内科[7]、
京都大学医学部付属病院 地域ネットワーク医療部[8]
○潮 正輝[1,2,3,5]、原島 伸一[2,3,4,6]、近藤 祥司[2,3,8]、竹治 めぐみ[2,3]、野田 恵加[2,3,7]、村田 航[1]、
住井 杏捺[1]、津田 拓哉[1]、森田 善方[1]、石田 均[2,3,5]

O8-2　演題取り下げ

O8-3　GLP-1/GIP 治療における体重減少と肝機能改善の関連

ベルランド総合病院 小児科・内分泌代謝科[1]、ベルランド総合病院 内分泌代謝科[2]、
ベルランド総合病院 小児科[3]
○端 里香[1]、松井 俊郎[2]、山本 友佳子[3]、藤木 典隆[2]、八木 稔人[2]

O8-4　GLP-1/GIP 治療の体重反応性の予測因子の検討

ベルランド総合病院 小児科[1]、ベルランド総合病院 内分泌代謝科[2]、
ベルランド総合病院 小児科・内分泌代謝科[3]
○山本 友佳子[1]、松井 俊郎[2]、端 里香[3]、藤木 典隆[2]、八木 稔人[2]

O8-5　チルゼパチド使用患者における体重変化等の検証

社会医療法人みどり会 中村病院 栄養管理部[1]、社会医療法人みどり会 中村病院 糖尿病内科[2]
○樋口 朋宏[1]、那須 由脩[1]、佐藤 仁美[1]、中村 夕貴[1]、森村 拓子[1]、岩﨑 亜紀[1]、桑村 尚充[2]、
高橋 輝[2]、武村 次郎[2]

第５会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1004-1005）

一般演題９　1 型糖尿病 1　　8:50 ～ 9:50

座長：堤 千春（大阪医科薬科大学 内科学 I）
能宗 伸輔（近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）

O9-1　ほぼ同時期に発症したと思われる病型の異なる 1 型糖尿病親子例
けいしょう内科クリニック[1]、社会医療法人愛仁会 高槻病院 看護部[2]
○陳 慶祥[1]、戸川 綾女[1]、山根 千春[1]、山下 みどり[2]

O9-2　irAE による急性発症 1 型糖尿病においてインスリン分泌能低下の経過を観察しえた一例
関西医科大学卒後臨床研修センター[1]、関西医科大学総合医療センター 内分泌代謝内科[2]、
関西医科大学 内科学第二講座[3]
○西島 槙哉[1]、松田 いずみ[2]、謝 佩玉[2]、徐 馨遠[2]、向井 千賀[2]、西浦 葵[2]、溝口 昌弘[2]、
中野 美由紀[2]、入江 潤一郎[3]、林田 健太郎[3]、豊田 長興[2]

O9-3　ペムブロリズマブ投与中に劇症 1 型糖尿病、中枢性副腎不全を同時に発症した 1 例
市立池田病院 糖尿病・内分泌内科
○吉田 健一、藤田 有加里、橋本 敦史、三砂 雅裕、井上 佳菜、岡田 拓也

O9-4　多彩な好酸球性疾患の治療中に発症した高齢劇症 1 型糖尿病の 1 例
大阪はびきの医療センター 糖尿病・内分泌内科
○樫根 晋、池田 守

O9-5　日本人 1 型糖尿病の臨床表現型に基づく分類およびその糖尿病合併症との関連
大阪大学大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学[1]、
大阪大学大学院医学系研究科 糖尿病病態医療学寄付講座[2]、
大阪大学大学院医学系研究科 病院臨床検査学講座[3]、
国立病院機構大阪医療センター 糖尿病・内分泌内科[4]
○益田 貴史[1]、片上 直人[1]、田矢 直大[1,2]、髙原 充佳[1,3]、宮下 和幸[1]、加藤 研[4]、
下村 伊一郎[1]

O9-6　CTLA4 遺伝子 5′ 領域 SNP と IRF4 結合領域の解析
関西学院大学 保健館[1]、友紘会総合病院 内科[2]、入野医院[3]
○上田 裕紀[1,2,3]

第５会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1004-1005）

一般演題 10　1 型糖尿病 2　9:50 ～ 10:50

座長：橋本 尚子（兵庫県立はりま姫路総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）
細川 吉弥（大阪国際がんセンター 内分泌代謝内科）

O10-1　バセドウ病との鑑別を要した無痛性甲状腺炎と急性発症 1 型糖尿病を同時発症した 1 例
市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科
○久芳 優香、増本 晃大、森本 亜衣、三輪 一貴、高本 晋吾、柴崎 早枝子、坂根 貞樹

O10-2　ALL のステロイド治療に対し自動インスリン投与システムを用いた 1 型糖尿病の 1 例
京都大学医学部附属病院 小児科[1]、京都大学大学院医学研究科 新生児学講座[2]
○今津 喬[1]、山内 建[1]、吉川 健太郎[1]、竹下 峻希[1]、境内 愛美[1]、窪田 博仁[1]、河井 昌彦[2]、滝田 順子[1]

O10-3　長期経過中に抗 GAD 抗体の陽転化を認めた糖尿病の一例
西脇市立西脇病院 糖尿病内科
○森内 啓介、新井 尚樹、毛利 有沙、堀 尚也、柏木 明香、来住 稔、岩井 正秀

O10-4　高度脂肪肝を呈し、インスリン治療により画像上の改善を認めた劇症 1 型糖尿病の 1 例
医療法人愛仁会 高槻病院 糖尿病内分泌内科
○黒川 和磨、三浦 洋、吉田 健一

O10-5　著明なトランスアミナーゼの上昇を認めた新規発症劇症 1 型糖尿病の 1 例
兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学
○八幡 祥太、井上 智香子、伊藤 実梨、木俵 米一、大東 真菜、三好 晶雄、角谷 美樹、角谷 学、小西 康輔、楠 宜樹、小山 英則

O10-6　血糖コントロール不良の 1 型糖尿病患者において Glycogenic Hepatopathy をきたした一例
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
○灰野 葵唯、竹内 健人、増田 雅、栄田 朋花、笠松 大瑶、野々口 瞳、志智 大城、駒田 久子、橋本 尚子、飯田 啓二

第５会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1004-1005）

一般演題 11　1 型糖尿病 3　10:50 ～ 11:40

座長：三柴 裕子（パナソニック健康保険組合 パナソニック京橋健康管理室）
宮下 和幸（大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）

O11-1　SGLT2 阻害薬内服下で大量飲酒を契機に DKA を繰り返した 1 型糖尿病の一例
大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ
○三宅 博之、中森 万由子、森本 亜衣、世良 加奈子、八幡 直輝、山村 里穂、細井 恵理子、藤澤 玲子、長江 亮太、寺前 純吾、今川 彰久

O11-2　SGLT2 阻害薬投与中に治療方針の再検討を要した緩徐進行 1 型糖尿病 (probable) の 1 例
京都大学医学部附属病院 糖尿病内分泌栄養内科[1]、
田附興風会 医学研究所 北野病院 糖尿病内分泌内科[2]
○武居 晃平[1]、村上 隆亮[1]、成田 晃大[2]、安彦 美江[1]、岡本 健太郎[1]、田浦 大輔[1]、池田 香織[1]、矢部 大介[1]

O11-3　糖質制限食が臨床経過に影響を与えたと考えられた初発 1 型糖尿病の 1 例
市立池田病院 糖尿病・内分泌内科
○橋本 敦史、吉田 健一、三砂 雅裕、井上 佳菜、藤田 有可里、岡田 拓也

O11-4　本態性振戦で自己注射が困難な 1 型糖尿病患者に対し DIY した自助具が有効であった一例
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 リハビリテーション科[1]、
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科[2]
○原田 雄太[1]、坂井 亮介[2]、上村 洋充[1]、杉田 倫也[2]、福井 道明[2]

O11-5　多職種連携とデバイス活用による、発達特性のある母子への 1 型糖尿病の指導と管理
滋賀県立総合病院
○田中 基意、松井 克之、髙橋 英城

第５会場（大阪国際会議場　10階　会議室 1004-1005）

一般演題 12　高齢者医療 1　15:30 ～ 16:30

座長：原 賢太（北播磨総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）
山崎 祐子（泉大津急性期メディカルセンター 糖尿病・内分泌科）

O12-1　高齢認知症患者における週１回製剤の併用の有用性について
市立芦屋病院 糖尿病・内分泌内科[1]、兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学[2]
○山内 真奈[1]、葭山 稜[1,2]、竹内 綾桃[1,2]、神取 あかり[1,2]、浦川 新悟[1,2]、紺屋 浩之[1]

O12-2　インスリン自己管理が困難な高齢患者に週１回の基礎インスリンを導入した事例
日本赤十字社和歌山医療センター 看護部[1]、
日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科[2]
○平石 桂子[1]、小倉 彩菜[1]、川俣 美智子[1]、廣畠 知直[2]、金子 至寿佳[2]

O12-3　インスリンイコデクが有用であった認知機能低下を伴う高齢２型糖尿病の２例
藍野病院 内科[1]、藍野大学[2]
○吉田 麻美[1]、浅野 瑠璃子[1]、浦上 奈歩[1]、宮河 小百合[1]、永田 浩志[1]、佐々木 恵雲[2]、
山本 直宗[1]

O12-4　認知機能低下により自己注射が困難となった高齢糖尿病患者を支援した一例
大阪医科薬科大学病院 看護部
○細井 法子、井上 裕美、番 聡子、田中 真矢

O12-5　高齢者糖尿病患者に対するインスリンイコデクの導入と多職種連携の一例
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 看護部[1]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 内科[2]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 薬剤科[3]、
社会福祉法人大阪福祉事業財団 すみれ病院 リハビリテーション科[4]
○西 昌子[1]、堀江 安里紗[1]、高尾 七海子[1]、澤田 玲子[3]、佐藤 愛[4]、飯田 宏美[2]、香西 夏子[2]、
池尻 礼子[2]、福田 祥子[2]、上田 実希[2]、小西 俊彰[2]

O12-6　在宅診療でフォローしている１型糖尿病の２症例
藍野病院[1]、あいの訪問看護ステーション[2]
○森岡 理紗[1]、吉村 愛[1]、宮河 小百合[1]、小田 勝大[1]、吉田 麻美[1]、北岸 敦子[1]、大塩 裕子[1]、
札木 路子[1]、柳 友美[2]、近藤 美穂[2]、山本 直宗[1]

第５会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1004-1005）

一般演題 13　高齢者医療 2　16:30 ～ 17:20

座長：高橋 輝（社会医療法人みどり会中村病院 糖尿病内科）
吉田 麻美（藍野病院 内科）

O13-1　basal insulin 療法にて増悪した糖尿病性神経障害合併高齢 SPIDDM(definite) の一例
市立ひらかた病院 糖尿病内分泌内科
○三輪 一貴、柴崎 早枝子、髙橋 良碩、小山 和也、高本 晋吾、坂根 貞樹

O13-2　肝疾患を有する高齢二次性糖尿病の一例
大阪市立総合医療センター 糖尿病内分泌内科
○小西 ひとみ、北村 充、川村 春佳、青木 映里香、柳田 遥、福田 麻由、髙橋 尚子、田添 聡司、藥師寺 洋介、福本 まりこ、元山 宏華

O13-3　糖尿病患者におけるカテゴリー分類と治療状況の変遷
社会医療法人みどり会 中村病院 看護部[1]、社会医療法人みどり会 中村病院 糖尿病内科[2]
○川﨑 真理[1]、平野 菜美子[1]、村佐 揚子[1]、桑村 尚充[2]、高橋 輝[2]、武村 次郎[2]

O13-4　Gemini のインフォグラフィックスはディアベテス患者との共同意思決定を変革する
KKR 枚方公済病院 内分泌代謝内科
○加藤 星河、田中 永昭

O13-5　アンカリングバイアスが診断、治療に影響を及ぼした高齢者 1 型糖尿病の一例
藍野病院 内科[1]、藍野病院 在宅診療室[2]
○山本 直宗[1]、宮河 小百合[1]、吉村 愛[2]、森岡 理紗[2]

第 6 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1006-1007）

一般演題 14　二次性糖尿病 1　8:50 ～ 9:50

座長：岡本 三希子（大津赤十字志賀病院 内科）
　　紺屋 浩之（市立芦屋病院 糖尿病・内分泌内科）

O14-1　糖尿病性ケトーシスで救急受診し、手のしびれの訴えから診断に至った先端巨大症
近江八幡市立総合医療センター[1]、滋賀医科大学 糖尿病内分泌内科[2]、
滋賀医科大学 脳神経外科[3]
○卯木 智[1]、美好 舞[2]、大橋 夏子[2]、深見 忠輝[3]

O14-2　糖尿病ケトアシドーシスを発症した褐色細胞腫合併 2 型糖尿病の一例
関西医科大学附属病院 糖尿病内分泌内科[1]、
国立循環器病研究センター 糖尿病・脂質代謝内科[2]
○法川 恵美[1]、原 宏幸[1]、正司 智子[1,2]、永山 カオル[1]、上木 とも恵[1]、森田 祐加[1]、竹川 達也[1]、
丸岡 あずさ[1]、髙橋 一久[1]、豊田 長興[1]、入江 潤一郎[1]

O14-3　副腎皮質ステロイド外用薬の大量使用により高浸透圧高血糖状態を来した 1 例
市立福知山市民病院 糖尿病内科[1]、京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学[2]
○土屋 嘉瑞明[1]、三橋 一輝[1]、福井 道明[2]、中西 尚子[2]

O14-4　空腹時高血糖を契機に判明した先端巨大症の 1 例
市立東大阪医療センター 内分泌代謝内科
○平田 歩、藤田 乃愛、福長 甲毬、井出 彩夏、武田 紗季、阪本 隆希

O14-5　著明な膵萎縮にもかかわらず内因性インスリン分泌能が保持された遺伝性膵炎の一例
神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科
○沼田 紘季、松田 琢磨、倉本 尚樹、武部 礼子、中村 武寛

O14-6　10 代で共に糖尿病性ケトアシドーシスを発症した若年双生児の姉妹例
京都岡本記念病院 糖尿病内分泌内科[1]、市立大津市民病院 糖尿病・内分泌内科[2]
○吉森 悠人[1]、木村 綾花[2]、出町 優生[1]、中村 麻椰[1]、貴志 明生[1]

第 6 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1006-1007）

一般演題 15　二次性糖尿病 2　9:50 ～ 10:50

座長：合屋 佳世子（大阪ろうさい病院 糖尿病内科）
　　平田 歩（市立東大阪医療センター 内分泌代謝内科）

O15-1　ペムブロリズマブ使用による 1 型糖尿病の診断に苦慮した一例
京都市立病院[1]、京都市立病院 糖尿病代謝内科[2]
○橋本 華穂[1]、大西 佑弥[2]、小間 淳平[2]、安威 徹也[2]、小暮 彰典[2]

O15-2　エンホルツマブベドチンにより Grade 3 の高血糖を来した 1 例
奈良県総合医療センター 糖尿病内分泌内科[1]、奈良県総合医療センター 消化器内科[2]
○宇和田 佳太[1]、森口 拓磨[1]、髙橋 菖[1]、上嶋 昌和[1]、松永 晋作[2]、松尾 英城[2]、守屋 圭[2]

O15-3　エンホルツマブ ベドチン関連高度インスリン抵抗性 DKA の一例
大津赤十字病院 糖尿病内分泌内科
○岸 晃生、木村 有里、奥野 佳奈、西川 祐貴、榊 健太郎、藤田 直尚、扇田 祐貴子、
谷口 孝夫

O15-4　エンホルツマブベドチンによる著明な高血糖をきたした一例
市立豊中病院 糖尿病センター[1]、市立豊中病院 教育研修センター[2]
○日野 麟太郎[1,2]、岡内 幸義[1]、下村 美月[1]、松尾 剛明[1]、小澤 栄稔[1]、岩橋 博見[1]

O15-5　エンホルツマブ ベドチン投与後著明なインスリン抵抗性をきたした 2 型糖尿病の 1 例
医療法人信和会 明和病院 糖尿病内分泌内科
○椿本 和明、津川 真美子、竹内 康雄

O15-6　膵頭十二指腸切除後の長期経過中にインスリン分泌能低下を認めた膵性糖尿病の 1 例
大阪はびきの医療センター 糖尿病・内分泌内科
○池田 守、樫根 晋

第 6 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1006-1007）

一般演題 16　糖尿病昏睡　10:50 ～ 11:30

座長：沖田 考平（三井住友銀行 大阪健康サポートセンター）
　　槇野 久士（国立循環器病研究センター 糖尿病・脂質代謝内科）

O16-1　感染契機の HHS 発症時および改善後の透析加療中に痙攣発作を生じた 1 型糖尿病の 1 例
独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 糖尿病内科
○川上 大輝、合屋 佳世子、兒玉 朋之、高橋 和久、小豆澤 深雪、辻 真由美、久保田 昌詞、良本 佳代子

O16-2　血糖 1930 mg/dL の高血糖緊急症後にインスリン療法が離脱し得た 2 型糖尿病の一例
大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学
○木下 舜一、角谷 佳則、宮本 祥子、三木 祐哉、森岡 与明、繪本 正憲

O16-3　血液透析により速やかな改善を認めた糖尿病性ケトアシドーシスの一例
市立伊丹病院 糖尿病・内分泌・代謝内科
○吉田 綾、坂上 貴章、北川 みどり、大村 優衣、池田 彩美、藤田 真吾、貞廣 克彦、浜口 朋也

O16-4　高血糖状態に非痙攣性てんかん重積 (NCSE) を併発した一例
石切生喜病院 糖尿病代謝内科
○山口 真奈、長谷川 隆正、赤井 真弓、本田 夏希、安田 由利子

第６会場（大阪国際会議場　10階　会議室 1006-1007）

一般演題 17　糖尿病治療薬 1　14:30 ～ 15:30

座長：金子 至寿佳（日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病内分泌内科）
河盛 段（大阪大学医学部附属病院 卒後教育開発センター）

O17-1　後期高齢２型糖尿病患者へのチルゼパチド導入の検討
兵庫県立西宮総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
○山西 雅之、森本 芙佐、富山 幸穂、菅波 修司、境 珠里、田中 咲弥佳、山本 研人、斎藤 博、芳川 篤志

O17-2　チルゼパチド投与の長期治療効果―GLP-1 受容体作動薬切り替え例を含む検討―
大阪府済生会 中津病院 糖尿病内分泌内科
○新谷 光世、瀬野 梓、磯谷 亮輔、西浦 綾乃、窪田 紗希、山下 唯、田中 早津紀

O17-3　当院におけるチルゼパチドの治療効果の検討（－第２報－）
清恵会病院 糖尿病代謝内科
○琴浦 陽南、大萱 雄一、岡谷 明尚、宮脇 正博、伊達 政道、野村 美枝

O17-4　２型糖尿病に対する経口セマグルチドの短期的な肝代謝指標改善効果と血糖改善との関連
箕面市立病院 糖尿病・内分泌代謝内科[1]、箕面市立病院 循環器内科[2]
○増田 紗千子[1]、北尾 隆[2]、小池 新平[1]、矢野 加那子[1]、懸高 知子[1]、籠田 芳夫[1]、中野 依莉子[1]、西澤 均[1]

O17-5　２型糖尿病における GLP-1 受容体作動薬の体組成への影響
京都山城総合医療センター 糖尿病・代謝内科[1]、
京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学[2]
○河合 清佳[1]、宗川 ちひろ[2]、米田 麻里[2]、蔵本 希[2]、岡田 博史[2]、中島 華子[2]、中西 尚子[2]、濱口 真英[2]、福井 道明[2]

O17-6　GLP-1 製剤は２型糖尿病患者の下肢切断リスクを軽減させるか？
康生会 武田病院 内分泌・糖尿病内科
○谷川 隆久、伊藤 直子、武田 純

第 6 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1006-1007）

一般演題 18　糖尿病治療薬 2　15:30 ～ 16:30

座長：宇野 彩（川西市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）
　　廣峰 義久（近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）

O18-1　エンパグリフロジン投与中にフルニエ壊疽と DKA を発症した心不全合併 2 型糖尿病の一例
大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学
○水谷 朱里、角谷 佳則、今西 佳乃、納屋 幸佑、宮本 祥子、三木 祐哉、森岡 与明、
繪本 正憲

O18-2　SGLT2 阻害薬で糖尿病性ケトアシドーシスを発症した内因性インスリン低下 2 型糖尿病症例
大阪市立十三市民病院 糖尿病・内分泌内科
○中野 雅信、宮﨑 祐宗、井坂 吉宏

O18-3　急性膵炎で入院後に正常血糖 DKA を生じた一症例
耳原総合病院 内科[1]、耳原総合病院 総合診療科[2]、耳原総合病院 消化器内科[3]
○川口 真弓[1]、岩崎 桂子[1]、杉本 雪乃[2]、河村 智宏[3]

O18-4　torsade de pointes を来した高度低 Mg 血症に SGLT2 阻害薬を用いた一例
市立伊丹病院 糖尿病・内分泌・代謝内科
○大村 優衣、坂上 貴章、北川 みどり、池田 彩美、藤田 真吾、貞廣 克彦、濵口 朋也

O18-5　糖尿病性腎症に対する Finerenone の治療効果の研究における SGLT2 阻害薬 (SGLT2i) の影響
清恵会病院 内科[1]、清恵会病院 薬剤部[2]
○杉山 友章[1]、大萱 雄一[1]、宮脇 正博[1]、岡谷 明尚[1]、寺井 健太郎[1]、片木 実和[1]、伊達 政道[1]、
奥田 可奈子[2]、辻野 景子[2]、野村 美枝[1]

O18-6　抗 BP180 抗体価が病勢を反映した DPP-4 阻害薬関連水疱性類天疱瘡の一例
市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科[1]、市立ひらかた病院 皮膚科[2]、
市立ひらかた病院 病理診断科[3]、佐藤病院[4]
○小山 和也[1]、柴崎 早枝子[1]、高本 晋吾[1]、日置 千華[2]、上野 浩[3]、加来 智志[4]、坂根 貞樹[1]

第６会場（大阪国際会議場　10階　会議室 1006-1007）

一般演題 19　糖尿病治療薬３　16:30 ～ 17:30

座長：野村 美枝（清恵会病院 糖尿病代謝内科）
芳川 篤志（兵庫県立西宮総合医療センター 糖尿病・内分泌内科）

O19-1　２型糖尿病患者に対するイメグリミン特定使用成績調査の中間報告：eGFR 別での検討
住友ファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部[1]、
住友ファーマ株式会社 ファーマコビジランス部[2]
○北山 甫[1]、萩 勝彦[1]、大藤 恵子[2]、谷 俊輔[2]

O19-2　当院におけるイメグリミンの有用性に関する検討
大阪赤十字病院 糖尿病・内分泌内科
○廣尾 翼、伏見 知紘、村部 衣里奈、和田 直樹、加藤 朋子、森 栄作、武呂 誠司

O19-3　当院におけるイメグリミンの使用経験：投与適応と注意点
JR 大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科
○須永 修平、坂井 亮介、武田 隆希、大西 正芳、一尾 直子、山口 満喜子、杉田 倫也、北川 良裕、福井 道明

O19-4　イメグリミンの有効性と安全性の評価
医療法人社団正名会 池田病院
○池田 弘毅、加藤 かおり、完山 昌隆、森田 千尋、宇佐美 勝

O19-5　デュラグルチド使用開始１か月後に胆石性胆嚢炎を発症した２型糖尿病患者の１例
日本生命病院 内分泌・代謝内科[1]、日本生命病院 糖尿病・内分泌代謝センター[2]
○細江 れい[1]、大石 怜奈[1]、徳永 陽菜[1]、大畑 颯世[1]、是近 彩香[2]、大畔 健太[1]、宇都 佳彦[2]、笠山 宗正[1]、橋本 久仁彦[1]

O19-6　チルゼパチド投与中に無痛性の胆石性壊疽性胆嚢炎を発症した肥満合併２型糖尿病の一例
大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ
○森島 光汰朗、藤澤 玲子、本田 浩太郎、寺前 純吾、山川 一馬、今川 彰久

第７会場（大阪国際会議場　10階　会議室1008）

一般演題20　興味ある症例1　　8:50～9:50

座長：岡田 博史（京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）
　　野村 恵巳子（公益財団法人浅香山病院 糖尿病内科）

O20-1　治療中断を契機に発症したDKAに壊死性食道炎を合併した高齢者の1例

大阪市立十三市民病院 糖尿病内分泌内科[1]、大阪市立総合医療センター 糖尿病内分泌内科[2]
○宮﨑 祐宗[1]、福田 麻由[2]、中野 雅信[1]、井坂 吉宏[1]

O20-2　酢酸シプロテロンが糖尿病性ケトアシドーシスを誘発したと考えられた若年男性の一例

大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ
○増本 晃大、細井 恵理子、世良 佳奈子、八幡 直輝、山村 里穂、藤澤 玲子、寺前 純吾、今川 彰久

O20-3　飢餓性の正常血糖ケトアシドーシスを繰り返した高齢女性の一例

市立池田病院 糖尿病・内分泌内科
○酒井 亮颯、藤田 有可里、吉田 健一、橋本 敦史、岡田 拓也、井上 佳菜、三砂 雅裕

O20-4　清涼飲料水多飲を契機とした糖尿病性ケトアシドーシスで抗GAD抗体陽性であった1例

京都府立医科大学附属病院 内分泌・糖尿病・代謝内科[1]、大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科[2]
○中野 佑哉[1]、森本 直斗[1]、大槻 裕一[1]、三嶋 悠希[1]、村岡 俊成[1]、芳村 奈央[1]、十倉 京香[1]、稲垣 要[1]、岡田 博史[1]、中西 尚子[1]、福井 道明[1,2]

O20-5　糖尿病増悪から感染性心内膜炎を発症し、臓器障害を併発した一例

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 糖尿病内科[1]、
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 看護部・糖尿病内科病棟[2]、
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 栄養管理室[3]、
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 薬剤部[4]、
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 臨床検査部[5]、
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター リハビリテーション部[6]
○五郎川 伸一[1]、森川 侑佳[1]、福田 純子[2]、秦 志麻[2]、東 由里[3]、上野 綾香[3]、松浦 遥香[4]、佐藤 亜純[5]、冨山 柚果[6]、松下 有加里[6]

O20-6　多発骨格筋膿瘍および感染性心内膜炎をきたした血糖管理目標未達成２型糖尿病の１例

洛和会 音羽病院 内分泌・糖尿病内科[1]、洛和会 音羽病院 感染症科[2]、
洛和会 音羽病院 京都口腔健康センター[3]
○上田 健斗[1]、丸山 高弘[2]、米本 高弘[2]、井村 春樹[2]、杉 典子[3]、大野 友倫子[1]、廣瀬 久美[1]、
千丸 貴史[1]

第７会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1008）

一般演題 21　興味ある症例 2　9:50 ～ 10:50

座長：三澤 美和（大阪医科薬科大学病院 総合診療科）
森岡 与明（大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学）

O21-1　２型糖尿病加療中に高度の低 Mg 血症および低 Ca 血症を来した１例
独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 糖尿病内科
○兒玉 朋之、合屋 佳世子、川上 大輝、高橋 和久、辻 真由美、小豆澤 深雪、久保田 昌詞、良本 佳代子

O21-2　血糖コントロール不良の２型糖尿病患者に口渇・多飲が出現し中枢性尿崩症と診断した一例
大阪医科薬科大学病院 医療総合研修センター[1]、大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ[2]
○髙井 真子[1]、小山 和也[2]、中嶋 素子[2]、八幡 直輝[2]、山村 里穂[2]、稲葉 惟子[2]、藤澤 玲子[2]、佐野 寛行[2]、金綱 規夫[2]、寺前 純吾[2]、今川 彰久[2]

O21-3　テプロツムマブ投与後に重度高血糖を呈した１例
大阪府済生会 茨木病院 糖尿病代謝内科
○山口 史子、加藤 純子、西 重生

O21-4　２型糖尿病の経過中に診断された Klinefelter 症候群の一例
関西医科大学 卒後臨床研修センター[1]、関西医科大学総合医療センター 内分泌代謝内科[2]、関西医科大学 内科学第二講座[3]
○大村 厚[1]、徐 馨遠[2]、向井 千賀[2]、松田 いずみ[2]、謝 佩玉[2]、溝口 昌弘[2]、西浦 葵[2]、入江 潤一郎[3]、林田 健太郎[3]、豊田 長興[2]

O21-5　再発乳癌に対してカピバセルチブ投与後に高血糖をきたした２例
京都府立医科大学附属病院 内分泌・糖尿病・代謝内科[1]、
京都府立医科大学附属病院 内分泌・乳腺外科[2]、大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科[3]
○森本 直斗[1]、岡田 博史[1]、中島 華子[1]、中西 尚子[1]、濱口 真英[1]、森田 翠[1,2]、福井 道明[3]

O21-6　カピバセルチブによって急性治療抵抗性高血糖を呈した２型糖尿病合併乳癌の１例
奈良県立医科大学 糖尿病内分泌内科[1]、奈良県立医科大学附属病院 乳腺センター[2]
○玉城 由子[1]、紙谷 史夏[1]、勝又 美穂[1]、津川 峻輔[1]、小泉 実幸[1]、浦井 伸[1]、中島 拓紀[1]、樽松 由佳子[1]、赤堀 宇広[2]、高橋 裕[1]

第 7 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1008）

一般演題 22　興味ある症例 3　10:50 ～ 11:50

座長：阿部 恵（大阪府済生会 野江病院 糖尿病・内分泌内科）
岡田 拓也（市立池田病院 糖尿病・内分泌内科）

O22-1　血糖改善に伴い耳下腺の縮小を認めた唾液腺症の一例
市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科
○米須 まりも、米澤 茉友、酒井 紅美子、二宮 浩世、竹下 恵理子、火伏 俊之

O22-2　チルセパチド治療中に大腸癌が判明した 2 型糖尿病症例
早石病院 糖尿病・内分泌代謝内科 / しおかぜ診療所 内科[1]、早石病院 内科[2]、
早石病院 薬剤科[3]
○岡野 理江子[1]、小泉 信太郎[2]、古林 啓介[2]、柳田 英佐[2]、永野 典子[2]、早石 宗右[2]、
長尾 和美[3]、加藤 真理[3]

O22-3　脳卒中様発作を契機に MELAS の診断に至った若年発症の糖尿病の 1 例
市立池田病院 臨床研修部[1]、市立池田病院 糖尿病・内分泌内科[2]、市立池田病院 脳神経内科[3]
○藤原 実桜[1]、吉田 健一[2]、橋本 敦史[2]、三砂 雅裕[2]、井上 佳菜[2]、藤田 有可里[2]、岡田 拓也[2]、
別府 祥平[3]

O22-4　発熱と右大腿の疼痛を主訴に受診した 2 型糖尿病の症例で糖尿病性筋梗塞が疑われた一例
大阪府済生会 野江病院 糖尿病内分泌内科
○佐坂 佐織、中島 勝巳、櫻町 唯、綾野 志保、阿部 恵

O22-5　10 年以上の治療中断後、心不全と腎不全を認め加療を再開した 2 型糖尿病の一例
京都山城総合医療センター 糖尿病・代謝内科[1]、大阪鉄道病院 糖尿病・代謝内科[2]
○中津 綾香[1]、河合 清佳[1]、平松 幸代[1]、富永 洋之[1]、吉村 尚[1]、福井 道明[2]

O22-6　頬部皮下膿瘍に伴う MSSA 菌血症に敗血症性肺塞栓を続発した未治療糖尿病の一例
京都岡本記念病院 糖尿病内分泌内科
○出町 優生、中村 麻椰、吉森 悠人、貴志 明生

第７会場（大阪国際会議場　10階　会議室1008）

一般演題23　食事療法　14:30 ～ 15:30

座長：池田 香織（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学）
石橋 達也（和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部）

O23-1　２型糖尿病患者のHbA1cに関連する食事療法の自己評価と生活・食習慣因子の検討
大阪医科薬科大学病院 栄養課
○浦瀬 真理子

O23-2　糖尿病性腎症患者におけるLTEPを活用した外来栄養指導の検討
国立病院機構 兵庫中央病院 栄養管理室[1]、国立病院機構 兵庫中央病院 糖尿病内科[2]、
国立病院機構 兵庫中央病院 研究検査科[3]
○國安 里衣[1]、城内 愛恵[1]、江川 涼子[1]、木本 めぐみ[1]、吾郷 貴美香[1]、張 友香子[1]、
植村 優子[1]、浅田 高至[3]、生天目 侑子[2]、福永 みちる[2]、鴻山 訓一[2]

O23-3　へき地診療所におけるオンライン栄養指導での糖尿病患者への支援
南奈良総合医療センター 栄養部[1]、へき地医療支援センター[2]、
南奈良総合医療センター 糖尿病内科[3]
○澤井 実希[1]、森岡 宏介[1]、安満 英之[2]、明石 陽介[2]、澤 信宏[2]、川野 貴弘[3]

O23-4　糖尿病を持つ人の間食指導に対する意識調査
早石病院 栄養管理科[1]、早石病院 看護部[2]、早石病院 薬剤部[3]、
早石病院 / しおかぜ診療所 糖尿病・内分泌代謝内科[4]
○森田 萌菜[1]、佐々木 茉奈[1]、杉本 和子[1]、木村 知美[2]、森田 智世[2]、長尾 和美[3]、加藤 真理[3]、
岡野 理江子[4]

O23-5　糖尿病患者の糖質制限とQOL、ストレス管理との関連性
武庫川女子大学 食物栄養学科[1]、よねだ内科クリニック[2]
○田中 明紀子[1,2]、米田 紘子[2]

O23-6　肥満症治療薬セマグルチド導入前の栄養指導が体重変動に与えた影響
大阪市立十三市民病院 栄養部[1]、大阪市立十三市民病院 糖尿病・内分泌内科[2]、
大阪市立総合医療センター 栄養部[3]
○辻本 真由[1]、宮﨑 祐宗[2]、伊藤 和[1]、宮下 智子[1]、濱浦 星河[1]、源氏 博子[3]、井坂 吉宏[2]、
中野 雅信[2]

第 7 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1008）

一般演題 24　運動療法　15:30 ～ 16:20

座長：菅原 健二（神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）
横山 久代（大阪公立大学 都市健康・スポーツ研究センター）

O24-1　当院通院糖尿病患者における 5 年後のサルコペニア新規発症に関わる因子の検討

綾部市立病院 内分泌糖尿病内科[1]、京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学[2]
○鹿野 燎[1]、大坂 貴史[1,2]、福井 道明[2]

O24-2　糖尿病患者におけるサルコペニアの実態調査

社会医療法人みどり会 中村病院 リハビリテーション部[1]、
社会医療法人みどり会 中村病院 糖尿病内科[2]
○平野 祐輔[1]、桑村 尚允[2]、高橋 輝[2]、武村 次郎[2]

O24-3　筋量の低下した高齢 1 型糖尿病患者が 780G 併用しサーキットトレーニングを行った一症例

綾部市立病院 内分泌・糖尿病内科[1]、
京都府立医科大学大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学講座[2]、大阪鉄道病院[3]
○大坂 貴史[1,2]、中島 燎[1]、福井 道明[2,3]

O24-4　2 型糖尿病患者における教育入院中の活動量が退院後の血糖コントロールに及ぼす影響

明和病院 リハビリテーション部[1]、明和病院 糖尿病・内分泌内科[2]
○阪口 みやび[1]、田中 宏弥[1]、森田 裕介[1]、津川 真美子[2]

O24-5　2 型糖尿病患者における HIIT ジム参加後の HbA1c と体重の経時的変化に関する後方視的検討

林医院 リハビリテーションセンター[1]、林医院 糖尿病内科[2]、神戸大学大学院保健学研究科[3]、
神戸大学大学院医学系研究科[4]
○嘉数 直人[1,3]、真田 将幸[1]、東 葉子[2]、足立 麗美[2]、中村 友子[2]、高田 早樹[2]、稗田 友香[2]、
林 功[2]、中山 優豊[4]、園田 悠馬[4]

第 7 会場（大阪国際会議場　10 階　会議室 1008）

一般演題 25　患者教育　16:20 ～ 17:10

座長：角谷 佳則（大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学）
福山 雅代（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 外来）

O25-1　地域密着型健康教室「べっぷ元気 DAY」の開催とその取り組み
医療法人糖心会 べっぷ内科クリニック[1]、
医療法人糖心会 べっぷ内科クリニック宇治市役所前[2]
○清水 芽衣[1]、竹内 美江[1]、安田 莉乃[1]、庄司 愛望[1]、天花寺 祐紀[1]、酒田 彰子[1]、青谷 大介[2]、
塚本 雅美[2]、最上 伸一[1]、北嶋 宏樹[1]、別府 浩毅[1]

O25-2　セルフケアの実践が困難であったが行動変容を促す介入が奏功した糖尿病合併膵癌の 1 例
大阪国際がんセンター 看護部リソースナースセンター[1]、大阪国際がんセンター 看護部[2]、
守口敬仁会病院 糖尿病・内分泌内科[3]、大阪国際がんセンター 臨床検査科・内分泌代謝内科[4]
○長坂 慶彦[1]、金星 正美[2]、山口 敦子[2]、山﨑 知行[3]、細川 吉弥[4]

O25-3　インスリン中断によりケトーシスを繰り返す慢性多量飲酒を継続する糖尿病患者の一例
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 内分泌・代謝内科[1]、
公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 糖尿病・内分泌センター[2]
○徳永 陽菜[1]、大石 怜奈[1]、細江 れい[1]、大畑 颯世[1]、是近 彩香[2]、大畔 健太[1]、宇都 佳彦[2]、
笠山 宗正[1]、橋本 久仁彦[1]

O25-4　トランジション後に血糖管理不良となった永続性新生児糖尿病 *(KCNJ11)* の 1 例
大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ[1]、旭川医科大学 小児科[2]
○岩下 真子[1]、中森 万由子[1]、森本 亜衣[1]、宮崎 りさ子[1]、細井 恵理子[1]、鈴木 滋[2]、
金綱 規夫[1]、寺前 純吾[1]、今川 彰久[1]

O25-5　Stay hungry、Stay foolish から故人の格言 Fasting 効果と糖尿病生活術を考える
一般社団法人徳仁会 AMIRI 免疫研究所 AMIRI CLINIC
○伊藤 実喜、島田 修、中村 典昭

第８会場（大阪国際会議場　10階　会議室1009）

一般演題26　チーム医療・保健指導1　14:30～15:30

座長：牛込 恵美（京都工芸繊維大学 基盤科学系）
　　細井 雅之（大道会 森之宮病院 内科 糖尿病内分泌センター）

O26-1　奈良県立医科大学附属病院と橿原市が共同開催する新たな形式の糖尿病教室
奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科[1]、
奈良県立医科大学附属病院 栄養管理部[2]
○岡田 定規[1]、小村 真里[2]、中尾 美芳[2]、中島 拓紀[1]、藤田 幸男[2]、高橋 裕[1]

O26-2　糖尿病療養支援入院前からのクリニカルパスを活用した外来での関わり
医療法人信和会 明和病院 看護部[1]、医療法人信和会 明和病院 糖尿病・内分泌内科[2]
○林 清子[1]、櫻庭 佳代[1]、末武 千香[1]、津川 真美子[2]

O26-3　糖尿病カードシステムを使用した新規外来患者向けクリニカルパスの構築
林医院 糖尿病内科
○高田 早樹、東 葉子、足立 麗美、稗田 友香、中村 友子、横山 陽子、開森 悠紀子、林 功

O26-4　糖尿病チームの取り組みの効果
医療法人信和会 明和病院 看護部[1]、医療法人信和会 明和病院 リハビリテーション科[2]、
医療法人信和会 明和病院 薬剤部[3]、医療法人信和会 明和病院 地域医療福祉相談室[4]、
医療法人信和会 明和病院 糖尿病・内分泌内科[5]
○中田 智子[1]、中平 真理子[1]、山本 愛珠咲[1]、奈良 希美[1]、春名 七海[1]、末武 千香[1]、
田中 宏弥[2]、中原 優華[3]、塚本 吏沙子[4]、竹内 康雄[5]、津川 真美子[5]

O26-5　看護外来ローテーション研修～病棟と外来の繋がりのある看護のために～
社会医療法人愛仁会 明石医療センター
○津崎 好美、鍛治 香澄、大岩 明日香

O26-6　管理栄養士養成課程学生の糖尿病スティグマとアドボカシーに対する意識調査の試み
京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学[1]、
京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部[2]
○松城 真里[1]、村上 隆亮[1,2]、藤田 美晴[2]、寺尾 龍人[2]、大島 志のぶ[2]、水野 菜穂子[1]、磯貝 暢希[1]、
吉田 駿男[1]、小林 亜海[2]、和田 啓子[2]、矢部 大介[1,2]

第８会場（大阪国際会議場　10階　会議室 1009）

一般演題 27　チーム医療・保健指導 2　15:30 ～ 16:30

座長：花岡 郁子（市立岸和田市民病院 代謝・内分泌内科）
　　山本 直宗（恒昭会 藍野病院 内科）

O27-1　透析患者の足病変予防に対する多職種連携の効果

医療法人紀陽会 田仲北野田病院[1]、大阪青山大学 看護学部[2]
○長澤 裕子[1]、左手 美友紀[1]、横田 香世[2]、木元 沙緒里[1]、永盛 由恵[1]、渡部 恵子[1]

O27-2　長期観察例からみる糖尿病透析予防指導における工夫と効果について

壬生大路病院 看護部[1]、壬生大路病院 栄養科[2]、壬生大路病院 糖尿病内科[3]
○堀口 貴代美[1]、橘田 陽子[2]、坂﨑 のり子[3]、北岡 治子[3]、吉田 俊秀[3]

O27-3　医科歯科連携を促す糖尿病教室の実践

澤木内科・糖尿病クリニック[1]、一般財団法人サンスター財団[2]、サンスター株式会社[3]、
医療法人きしもと歯科医院[4]、東海大学医学部付属八王子病院 糖尿病・内分泌内科[5]
○高田 菜摘[1]、澤木 秀明[1]、辻 扇由[1]、隈元 七聖[1]、茨木 浩子[2]、高世 尚子[2]、原田 佳代[3]、
岸本 博人[4]、村田 敬[1,5]

O27-4　外来糖尿病患者における歯科受診状況

社会医療法人みどり会 中村病院 看護部[1]、社会医療法人みどり会 中村病院 糖尿病内科[2]
○平野 菜美子[1]、川﨑 真理[1]、村佐 揚子[1]、桑村 尚允[2]、高橋 輝[2]、武村 次郎[2]

O27-5　透析予防指導における 88 例の話そうシートの検討

大阪市立総合医療センター 看護部[1]、大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌内科[2]
○後藤 夏絵[1]、熊野 真美[1]、青木 映里香[2]、柳田 遥[2]、福田 麻由[2]、高橋 尚子[2]、田添 聡司[2]、
薬師寺 洋介[2]、福本 まりこ[2]、元山 宏華[2]

O27-6　糖尿病外来における在宅療養指導料算定件数増加への取り組み

南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 外来[1]、
南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 糖尿病内科[2]
○甲斐 真紀子[1]、川野 貴弘[2]

第８会場（大阪国際会議場　10階　会議室1009）

一般演題28　チーム医療・保健指導３　16:30 ～ 17:30

座長：上中 理香子（国家公務員共済組合連合会 大手前病院 代謝・内分泌内科）
田中 永昭（枚方公済病院 内分泌代謝内科）

O28-1　多職種介入外来カンファレンスが有用であった高齢２型糖尿病の一例

南奈良総合医療センター 薬剤部[1]、南奈良総合医療センター 栄養部[2]、
南奈良総合医療センター 看護部[3]、南奈良総合医療センター 糖尿病内科[4]
○仲村 知世[1]、平井 真澄[1]、森岡 宏介[2]、甲斐 真紀子[3]、吉川 一吾[1]、川野 貴弘[4]

O28-2　高次機能障害のある１型糖尿病患者に対するMCSを活用した療養行動支援

社会福祉法人大阪府済生会 千里病院 看護部
○北島 可那子

O28-3　不明瞭なインスリン中止指示からDKAで心停止に至った一例と再発防止への院内の取組み

公立甲賀病院 糖尿病内分泌内科[1]、滋賀医科大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科[2]、
公立甲賀病院 腎臓内科[3]
○樋口 美帆子[1]、清水 彩永[2]、北川 奈津子[1]、楠井 進之介[1]、武田 尚子[3]、信田 裕[3]、
大村 寧[1]

O28-4　発達特性を有する２型糖尿病患者の治療継続を支えた地域多職種連携の一例

市立ひらかた病院 小児科病棟
○野口 愛美、塚原 幸世

O28-5　医師事務作業補助者のCDEL資格取得とその活用

大阪市立十三市民病院 糖尿病・内分泌内科[1]、大阪市立十三市民病院 医事課[2]、
大阪市立十三市民病院 看護部[3]
○井坂 吉宏[1]、崎尾 利恵[2]、大西 尚美[2]、金田 恵[2]、小川 諒子[2]、桜田 奈津希[2]、井口 夏奈[3]、
森脇 恵美子[3]、中野 雅信[1]、宮﨑 祐宗[1]

O28-6　生成AIによるカルテ・患者指導箋作成における法的リスクとガバナンスの論点整理

林医院 糖尿病内科 医療事務[1]、林医院 糖尿病内科[2]
○松本 みさき[1]、田口 支保[1]、高田 由加[1]、中垣 敏子[1]、玉田 明歩[1]、山口 愛海[1]、林 功[2]

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 29　感染症　8:50 ～ 9:50

座長：馬屋原 豊（JCHO 大阪病院 糖尿病内分泌内科）
藤澤 智巳（医療法人徳洲会 恵生会病院 糖尿病・内分泌・代謝内科）

O29-1　Candida tropicalis による尿路感染症を契機にカンジダ眼内炎をきたした 2 型糖尿病の 1 例
大阪けいさつ病院 糖尿病・内分泌・代謝内科
○沖田 朋憲、永堀 桜子、土居 佑爾、山本 愛、楠下 萌、酒井 保奈、焦 裕之、乾 遼子、堀川 慶子、田渕 優希子、安田 哲行

O29-2　MSSA 菌血症に合併した内因性眼内炎を認めた糖尿病性ケトアシドーシスの 1 例
甲南医療センター 糖尿病･内分泌･総合内科[1]、神戸大学医学部附属病院 糖尿病･内分泌内科[2]、六甲アイランド甲南病院 内科[3]、甲南医療センター 眼科[4]
○三喜田 千裕[1]、林 皓太[2]、中川 未貴[1]、金谷 雅之[1]、西本 祐希[1]、浜口 哲矢[1]、肥後 里実[1]、山田 浩幸[3]、石橋 一樹[4]、木村 朱里[4]

O29-3　頚部壊死性筋膜炎を合併した 2 型糖尿病の一例
大阪急性期・総合医療センター 糖尿病内分泌内科
○松吉 克典、藤吉 仁史、監物 諒相、畑 雅久、藤田 洋平、畑﨑 聖弘

O29-4　高血糖緊急症に合併した急性壊死性食道炎の診断後，遅発性に高度食道狭窄を来した 1 例
北播磨総合医療センター 糖尿病・内分泌内科[1]、
北播磨総合医療センター 総合内科，老年内科[2]
○橋本 芽依[1]、鈴木 正暉[1]、森川 咲希[1]、髙島 智貴[1]、藤原 えり[1]、安友 佳朗[2]、大原 毅[1]、原 賢太[1]

O29-5　治療自己中断により腎膿瘍を発症した若年 2 型糖尿病女性の 1 例
奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科[1]、奈良県総合医療センター 消化器内科[2]
○森口 拓磨[1]、宇和田 佳太[1]、髙橋 菖[1]、上嶋 昌和[1]、永松 晋作[2]、松尾 英城[2]、守屋 圭[2]

O29-6　Campylobacter fetus(C. fetus) 菌血症を発症した 2 型糖尿病の一例
紀南病院 内科[1]、新宮市立医療センター 麻酔科[2]
○阪根 大貴[1]、山﨑 博貴[2]、板谷 耀平[1]、海邊 卓明[1]、森 佑熙[1]、竹中 雅子[1]、早川 佳奈[1]、藤本 特三[1]、早川 隆洋[1]

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 30　CSII・SAP・CGM1　9:50 ～ 10:50

座長：黒田 暁生（なにわ病院 糖尿病・代謝内科）
丹波 祥子（一般財団法人 住友病院 内分泌代謝内科）

O30-1　重症低血糖を契機に脳梗塞を発症したインスリンポンプ治療中の高齢 1 型糖尿病の 1 例
市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科
○柴崎 早枝子、久芳 優香、森本 亜衣、増本 晃大、三輪 一貴、高本 普吾、坂根 貞樹

O30-2　インスリンポンプ回路交換後に糖尿病性ケトアシドーシスを来した 1 型糖尿病の 1 例
奈良県総合医療センター 糖尿病内分泌内科[1]、奈良県総合医療センター 消化器内科[2]
○上嶋 昌和[1]、宇和田 佳太[1]、森口 拓磨[1]、髙橋 菖[1]、永松 晋作[2]、松尾 英城[2]、守屋 圭[2]

O30-3　精神科リエゾン介入と AID 療法導入で改善した SPIDDM の一例
藍野病院 糖尿病・内分泌内科[1]、藍野病院 精神神経科[2]
○浅野 瑠璃子[1]、吉田 麻美[1]、浦上 奈歩[1]、宮河 小百合[1]、永田 浩志[1]、犬山 麻亜弥[2]、山本 直宗[1]

O30-4　胃・肝切除後に急性発症 1 型糖尿病を合併し AID 療法が奏功した 1 例
市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科
○髙橋 良碩、柴崎 早枝子、小山 和也、三輪 一貴、高本 晋吾、坂根 貞樹

O30-5　AHCL により低血糖減少と TIR 増加が得られた膵性糖尿病の一例
大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学
○久保田 尚貴、角谷 佳則、重永 真梨子、宮本 祥子、三木 祐哉、蔵城 雅文、森岡 与明、繪本 正憲

O30-6　外来にて 1 型糖尿病と診断し、CSII 導入をおこなった 1 例
内科・糖尿病内科 天王寺めぐみクリニック
○橘 恵

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 31　CSII・SAP・CGM2　10:50 ～ 11:40

座長：下 直樹（和歌山県立医科大学 医学部 内科学第一講座）
　　良本 佳代子（大阪労災病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

O31-1　同一患者において CGM センサーワイヤーの皮下遺残を繰り返し認めた 1 例

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科学講座[1]、滋賀医科大学医学部附属病院 看護部[2]、滋賀医科大学 皮膚科学講座[3]

○一瀬 雅人[1]、西村 公宏[1]、清水 恵子[2]、前田 泰広[3]、小杉 和希[1]、鍬田 菜摘[1]、井田 昌吾[1]、大橋 夏子[1]、村田 幸一郎[1]、宮澤 伊都子[1]、久米 真司[1]

O31-2　CGM 機器の変更により評価指標の精度が改善した 1 型糖尿病の 2 症例

和歌山県立医科大学 医学部 内科学第一講座

○和田 冴生、下 直樹、竹島 健、古川 安志、石橋 達也、森田 修平、松岡 孝昭

O31-3　当院における CGM 機器の運用現状と世代間における課題の検討

奈良県総合医療センター 臨床検査部[1]、奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科[2]

○飯尾 洋紀[1]、上嶋 昌和[2]、髙橋 菖[2]、森口 拓磨[2]、宇和田 佳太[2]、中村 文彦[1]、北川 孝道[1]、仲北 友子[1]、尾崎 里美[1]、西本 佳那[1]、木原 梢[1]

O31-4　高血糖不安を背景に頻繁なスキャン回数が記録された 1 型糖尿病の 1 例

澤木内科・糖尿病クリニック[1]、東海大学医学部付属八王子病院 糖尿病・内分泌内科[2]

○澤木 秀明[1]、塚本 雅美[1]、中川 聖子[1]、石川 実里[1]、村田 敬[1,2]

O31-5　先進デバイスを用いた新時代の「虚偽記載」の経験

D Medical Clinic Osaka

○広瀬 正和

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 32　CSII・SAP・CGM3　14:30 ～ 15:10

座長：馬場谷 成（近畿大学 医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）
　　柚山 賀彦（大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学）

O32-1　Automated Insulin Delivery (AID) 療法を導入した発達障害を伴う 1 型糖尿病児の 1 例
海南医療センター 小児科[1]、和歌山県立医科大学附属病院 小児科[2]、紀南病院 小児科[3]
○岩本 美紀[1,2]、竹本 圭佑[2]、篠崎 浩平[2]、髙橋 朋香[2]、宮脇 正和[2,3]、徳原 大介[2]

O32-2　小児 1 型糖尿病患者での AHCL 導入時期別の CGM 指標・安全性
姫路赤十字病院 小児科
○松本 真明、岩本 匡洋、長谷川 貴也、本郷 裕斗、阪田 美穂、中川 卓、五百蔵 智明

O32-3　グラルギンをイコデックへ切り替えた血糖値推移を rtCGM で確認し得た 2 型糖尿病の 1 例
市立ひらかた病院 糖尿病内分泌内科[1]、大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ[2]
○太口 瑞穂[1,2]、柴崎 早枝子[1]、高本 晋吾[1]、坂根 貞樹[1]

O32-4　rtCGM の使用が食事内容の見直しにつながった経口薬治療２型糖尿病患者の２例
渡辺内科クリニック
○是兼 和子、田中 かおり、橋爪 正美、宮﨑 朋香、出口 雅子、小西 幸子、山口 由以子、中嶋 正子、久保 聡子、渡辺 伸明

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 33　妊娠　15:10 ～ 16:00

座長：楠 宜樹（兵庫医科大学 糖尿病内分泌・免疫内科学）
和栗 雅子（大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 母性内科）

O33-1　1 型糖尿病合併妊娠に対し、AID 療法による周産期血糖管理を行った 1 例
国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター[1]、
国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 予防医学研究室[2]、
国立病院機構京都医療センター 産科婦人科[3]
○宮坂 直人[1]、坂根 靖子[2]、河口 八重子[2]、北野 照[3]、松本 沙英[3]、山田 雅恵[3]、寒河江 悠介[3]、
渡邊 知一[1]、濱西 潤三[3]、坂根 直樹[2]、小倉 雅仁[1]

O33-2　チルゼパチドによる減量後に妊娠が成立した高度肥満合併 2 型糖尿病の 1 例
大阪急性期・総合医療センター 糖尿病内分泌内科
○高島 理佳子、藤田 洋平、監物 諒相、藤吉 仁史、畑 雅久、畑﨑 聖弘

O33-3　妊娠判明後に中止したインクレチン関連薬使用例に関する検討
大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
○市川 瑠美子、和栗 雅子

O33-4　右腕神経叢麻痺を合併した巨大児を出産した 2 型糖尿病合併妊娠の 1 例
関西医科大学 第 2 内科学講座[1]、片瀬医院[2]
○中野 美由紀[1]、田代 香織[2]、徐 馨遠[1]、向井 千賀[1]、松田 いずみ[1]、丸田 輝太郎[1]、
西村 久美子[1]、豊田 長興[1]、入江 潤一郎[1]、林田 健太郎[1]

O33-5　訪問看護導入により安全に血糖管理し得た知的障害を有する妊娠糖尿病の 1 例
大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ[1]、大阪医科薬科大学病院 産婦人科学教室[2]
○安井 優奈[1]、世良 佳奈子[1]、迎 優里亜[1]、三宅 博之[1]、細井 恵理子[1]、石川 渚[2]、永易 洋子[2]、
藤田 太輔[2]、金綱 規夫[1]、田中 智人[2]、今川 彰久[1]

第 10 会場（大阪国際会議場　12 階　会議室 1202）

一般演題 34　低血糖　16:00 ～ 16:50

座長：片上 直人（大阪大学 内分泌・代謝内科学）
　　橘 恵（内科・糖尿病内科 天王寺めぐみクリニック）

O34-1　反復性低血糖を契機に診断した Big IGF-2 産生非膵島細胞性腫瘍性低血糖の一例

滋賀医科大学 糖尿病内分泌・腎臓内科学講座[1]、滋賀医科大学 泌尿器科学講座[2]、
滋賀医科大学 病理学講座[3]、日本医科大学大学院医学研究科 内分泌代謝・腎臓内科学分野[4]
○古倉 有希[1]、小杉 和希[1]、西村 公宏[1]、松原 修斗[1]、井田 昌吾[1]、大橋 夏子[1]、吉田 哲也[2]、
北野 晶子[3]、森谷 鈴子[3]、福田 いずみ[4]、久米 真司[1]

O34-2　低血糖の是正に苦慮した類似の内分泌所見を呈した腫瘍関連低血糖の２例

社会医療法人誠光会 淡海医療センター 糖尿病内分泌内科[1]、
社会医療法人誠光会 淡海医療センター 呼吸器外科[2]、
社会医療法人誠光会 淡海医療センター 消化器外科[3]、
日本医科大学大学院医学研究科 内分泌代謝・腎臓内科学分野[4]
○中村 亮太[1]、関根 理[1]、藤沢 天音[1]、林 一喜[2]、山本 有香子[1]、小林 純[1]、戸川 剛[3]、
巖西 真規[1]、福田 いずみ[4]、島津 章[1]、柏木 厚典[1]

O34-3　ペンタミジンによる二相性血糖異常をきたした後に正常化した一例

兵庫医科大学病院 糖尿病内分泌代謝内科
○中野 康佑、角谷 美樹、山本 祐里佳、角谷 学、小西 康輔、小山 英則

O34-4　インスリンイコデクの過量投与の影響が３週間以上遷延した一例

大阪医科薬科大学三島南病院 糖尿病代謝内科[1]、大阪医科薬科大学 内科学Ⅰ[2]、
蒼生病院 内科[3]
○藤林 克弥[1]、長江 亮太[23]、石田 志門[3]、今川 彰久[2]

O34-5　スマートインスリンペン導入で低血糖改善を認めた知的障害を伴う１型糖尿病の一例

八尾徳洲会総合病院 薬剤部[1]、八尾徳洲会総合病院 看護部[2]、
八尾徳洲会総合病院 糖尿病内科[3]
○山本 実伶奈[1]、小田 麻優子[1]、加藤 奈帆[1]、能勢 綾夏[1]、栗野 大輔[1]、山本 浩二郎[1]、
坂野 千賀[1]、草薙 みか[1]、藤井 安希子[2]、酒井 菜穂子[2]、石橋 里江子[3]